

1. 重要な会計方針に係る事項

① 資産の評価基準及び評価方法

イ たな卸資産

商 品…………… 総平均法による原価法

調剤薬品…………… 総平均法による原価法

貯 蔵 品…………… 最終仕入原価法

② 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産…………… 建物及び構築物

・平成19年3月31日以前に取得したもの…旧定額法

・平成19年4月1日以降に取得したもの ……定額法

その他

・平成19年3月31日以前に取得したもの…旧定率法

・平成19年4月1日以降に取得したもの ……定率法

ロ 無形固定資産…………… 定額法。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内の利用可能期間(5年)による定額法によっております。

③ 引当金の計上基準

イ 貸倒引当金…………… 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

④ その他事項

消費税等の会計処理… 税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額 当期純利益 79,516千円

以 上